



自主・自律・自信

子どもたちの主体性を育み、伸ばす小学校



東山

Higashiyama Elementary School

令和7年度 学校だより

7月号

令和7年6月27日

目黒区立東山小学校

校長 村尾 勝利



夏休みに学びの“旅”に出よう!

副校長 村上 千尋

今年度から、目黒区では夏休みが8月31日まで延長されます。長期の休みは、学校では得られない体験を通して、自分の好きなことや得意なことを見付けたり、新たな力を伸ばしたりする大きな機会となります。

「学びの旅に出かける」これは、単に遠くに出かけることだけを指すではありません。身近な自然や地域とのふれあい、家族との会話、読書や自由研究など、日常の中に学びの機会はたくさん含まれています。知らないことに出会い、自ら感じ、考え、行動することが本当の学びになるのです。家庭での学習や生活は、「自分自身と向き合う力」を大きく育てます。

本校では、「多様な他者と協働して学ぶ力」とともに、自己調整学習やマイスタを通して、「自ら学ぶ力」を育てています。大人が思っている以上に子供たちは、自分で伸びよう、学ぼうという力をもっています。昨年度から自己調整学習に取り組む中で、本校の教員は改めてそのことに気付きました。「本当に、自分の力で最後までやりきれののだろうか。」「子供が困っていたらどうすればよいのだろうか。」大人はつい不安になって声をかけたくなることもあるかもしれません。しかし、時にぐっと我慢して見守り、伴走することで、自分自身で学び、成長しようとする力を伸ばすことができた実感しました。

子供たちは、学校と家庭の両方の生活や学びを通して、これからの社会を生き抜くために必要な力を身に付けていくと考えます。心豊かで実りある夏休みを過ごされることを願っています。

今月の主な予定

*詳しくは学年だよりをご確認ください。

★スクールカウンセラーの勤務曜日 月曜日(廣内 SC)・火曜日(川上 SC)・水曜日(池田 SC)・木曜日(柴原 SC)

7/1	火	全校朝会 6年セーフティ教室 5時間授業 13時30分下校
7/2	水	4時間授業 13時10分下校
7/3	木	健康指導
7/4	金	安全指導 1年防犯教室 中学年保護者会(中学年13時30分下校)
7/7	月	5.6年委員会活動
7/8	火	高学年保護者会(高学年13時30分下校)
7/9	水	6年演劇鑑賞教室
7/10	木	低学年保護者会(低学年13時30分下校)
7/14	月	4.5.6年クラブ活動
7/15	火	避難訓練
7/17	木	ともあそび
7/21	月	海の日 夏季休業日開始
8/31	日	夏季休業日終了
9/1	月	全校朝会 4時間授業 給食なし 集団下校訓練(12:30下校)

東山小の子どもたち

～学年の様子～

1年生

6月19日に遠足で「葛西臨海水族園」に行きました。暑い日でしたが、園内ではクロマグロが群泳する大水槽や、クラゲなどの涼しげな生き物を見て楽しみました。「あいさつ、返事、お礼」をめあてにがんばり、お世話になった方々にしっかりとお礼を言うことができました。



2年生

東山フェスティバルでは、日本の昔話について発表しました。当日こどもたちはそれぞれの班で工夫して発表しました。本番は想像以上にたくさんのお客さんが来て、「うれしい。」とふりかえりに書いていました。



3年生

遠足でこどもの国に行きました。牛や馬などの動物と、豊かな自然に囲まれながら班ごとにチェックポイントを周りました。地図を見ながら合言葉になる七文字を先生から一文字ずつ教わり、「みんななかよし」の答えを全班正解することができました。



4年生

東山フェスティバルでは、「世界のお話」をテーマに、絵本を読んで興味をもった各国の文化について堂々と発表することができました。

何度も練習を積み重ね、友達からアドバイスをもらいながら、発表のしかたをどんどん工夫していく姿が印象的でした。



5年生

館山自然宿泊体験に向け、調べたことを基に新聞を作成したり、係の仕事に積極的に取り組んだりしてきました。一人ひとりが「みんなで良い体験にしよう」と前向きに取り組んでいます。こうした経験を通して高学年としてさらに成長する良い機会にしていきたいと思います。



6年生

子供たちは元気に学校のリーダーとして活躍しています。クラブ活動や委員会、ともあそびでは、担当の教員と事前に計画を立て、見通しをもちながら取り組んでいます。学校のリーダーとして下学年の手本となるよう頑張っています。



7月の生活目標 ～代表委員会で話し合い、児童が決めています～

夏休みに向けて、生活習慣を整えよう

第1週 時間を気にして行動しよう

第2週 睡眠や水分補給、栄養バランスに気を付けて、健康に生活しよう

第3週 計画的に荷物を持ち帰ろう

セーフティ教室

生活指導部

セーフティ教室では、日常生活の中で児童が巻き込まれる恐れのある犯罪などを知り、安全な生活を送るためにどのような行動や身を守るための方法をとればよいのかを考えることを目的としています。学んだことはその場だけでなく、今後の生活にも生かしてほしいと思います。ご家庭でも話題として取り上げていただければ幸いです。



夏休みの安全について

生活指導部

夏休み直前にも各クラスで子どもたちに話しますが、ここでは先にご二つお伝えしておきます。

- ① お金の貸し借り、おごったりおごられたりするトラブル、それも金額が大きくなってのものが起こりやすくなります。夏休みは、お金の使い方の学びの機会となる反面、トラブルから悲しい思いをする場合もあることを念頭に、ご家庭で約束を再確認していただけたらと思います。
- ② 水の事故も起こりやすくなります。特に「浅瀬の川だから」「親戚のお兄ちゃんと一緒にだから」と油断しやすい状況が一番危険です。近年はライフジャケットの着用についても推奨されています。海や川で安全に過ごし、夏休み明けに楽しい思い出話をたくさん聞かせてほしいと思っています。

自由研究・探究学習

学習部

今回の自由研究・探究学習では、子供たちの自発性を大切にしたいと考えています。挑戦したいことや気になること、子供たち一人一人がもつ好奇心や探求心を軸に、思いをもつだけでなく、それらを形にして表現する力を育てていくことをねらいとしています。自分の興味・関心のあることに目を向け、そこから課題を決め、情報を集めて調べたり、まとめたりしていくことにより、課題解決能力が育ってきます。

夏季休業日まで、学校で子供たち一人一人が取り組むテーマを決めていきます。テーマに沿って課題を解決するための調査や実験、工作などについては、夏季休業中の取り組みとなるため、ご無理のない範囲で御家庭のサポート並びに御協力をよろしくお願いいたします。

特別支援教室いちょうについて

いちょう

いちょうは、在籍学級の授業に概ね参加できるものの、学習や行動に困難さがあるなどで、個別の支援を必要とするお子さんのための教室です。「友達ともっと仲良くしたい」「もっと楽しく学校に通いたい」という願いをもっているお子さんに対して、週に1~3時間程度、個別指導や小集団指導を通して一人一人のめあてに応じた指導・支援をしています。

いちょうでの様々な学習を通して得意なことを増やし、苦手なことを減らしていくことで、児童が自分の良さを再発見し、友達との付き合い方や自分の特性に合った学び方を獲得しながら在籍学級で楽しく過ごせるようになることを目指しています。

日本語指導の取り組み

日本語教室

6月は遠足(宿泊)シーズンでした。日本語教室に通う子たちも日本での初の遠足(宿泊)を楽しみにしていました。しかし、彼らから持ち物のことで質問がありました。「エチケット袋」がどこに売っているのか分からないと言うのです。はっとしました。私たちが常識だと思っていたことも日本独特の文化なのかもしれません。エチケット袋を実際を作って伝えました。

日本語教室を利用する児童にとって難しいことのひとつとして、「～がいる。」と「～がある。」があります。日本語を覚えたての子は、存在することに「～がある」を使うことを覚えると「先生がある。」と間違ってしまうことが続きます。日本語のように様々な表現方法がない国の子は、ひとつの単語を覚えると間違っただけで使ってしまうがちです。また、耳で聞こえてくる音声と書く時の平仮名が違うために間違ってしまうこともあります。例えば、「氷」は、音声では「こおり」と「こうり」と聞こえ方が違うようです。正しくは、「こおり」ですがこのように「お」と「う」を間違えることはたくさんあります。

間違っても前向きに頑張っている姿が素敵だと思います。

東山フェスティバル

学芸的行事委員会

6月7日(土)、東山フェスティバルが開催されました。2年生は「日本のお話」、3年生は「世界の遊び」、4年生は「世界のお話」、5年生は「世界の暮らし」、6年生は「国際理解」がテーマでした。各学年、自分たちのテーマをより探究的に調べ、タブレットや模造紙などを使ってまとめていきました。クイズを入れたり、実際に遊びを一緒にやってみたりと聞いている人たちが楽しめるようにたくさんの工夫が感じられる発表でした。きっと多くの児童が日本や世界のよさに気づけたのではないかと思います。また、今回の学習を通して身に付けた力を今後の学習活動に生かして欲しいと思います。

「東山フェスティバル」 6月7日 (土) ～一部抜粋～

- ・1年生は見て感想という形式だったため、参加側に回ることができるのと1年後に成長を感じることができるのかなと感じました。
- ・今年度は開催時期が早いこともあり、1年生の発表が見られず残念でした。来年のために色々見ておくことも大事だと感じました。
- ・自宅での音読の宿題が東山フェスティバルのものだったので、自宅でもどれだけ本人が頑張っているのか分かりました。二年生になり日々の練習や人に伝えるという点が意識できたのか昨年より聞きやすく話していたので内容もちろんよく考えられていましたが話し方という点でも成長を感じる事ができました。
- ・日本の昔話をテーマにした各グループの発表、それぞれ工夫があって楽しく拝見しました。紙芝居や人形劇など、表現の仕方もさまざま面白かったです。
- ・子どもたちが自信を持って大人に自分たちが調べた遊びを紹介する様子はとても頼もしく、学びを楽しんでいる様子が見られて非常に良かったです。
- ・どの学年の子達もとてもよく調べていて、変化球の質問にもしっかり答えてくれて驚きました。色々な国の様々な方面の特色について、これを機に興味関心を持てるともいい機会だと思いました。
- ・我が子がみんなで輪になるようなゲームを考えてくれていたので、親子で楽しめました。この日の為に家で招待状も用意してくれていたの、凄く考えたゲームだと伝わりました。
- ・各学年の発達段階に合わせて発表の内容が工夫されていて、グループみんなで調べたり発表したりすることをまとめ上げていてすごいなと思いました。高学年の子達は英語も取り入れていて、人前で英語を話す機会を作られているのも「世界」をテーマにした取り組みに合っているなと思いました。
- ・最初の発表を聞いた時は声が小さく、台本を読む感じでしたので、大丈夫かな？と思いました。2回目の発表では、だんだんと慣れてきて、声も出るように、観客と目を合わせるように意識していて、良くなっていました。班メンバー同士フォローし合う場面も見られ、素晴らしかったです。
- ・5、6年生が4年生の発表を見て、感想や良かったところや質問をしていて、聴く側の役目をしっかりしていたところが素晴らしかったです。
- ・子どもたちの探究心、そしてそれを受け取る人がいることへのモチベーションアップ、すごく良いイベントだと毎年思います。
- ・4年生ながらによく調べられていて、見る人が楽しく学べる工夫がされていると思いました。発表の合間にも内容や喋り方の反省会が行われており、子供たちの熱意を感じることができました。他のグループも呼び込みをしたり、質問をしたり積極的に東山フェスティバルを動かしているアクティブな児童が多い事に驚きました。親としても学びの機会をいただけてとても嬉しいです。
- ・5年生、6年生の発表、どの子も発表の仕方を聞きやすいように工夫していたり、イラストや画像でわかりやすくしたりと素晴らしかったです。質問にも的確に答えていて、感心しました。
- ・5、6年生を中心に何グループかの発表を聞きましたが、とてもよく調べて発表しているグループ、画像を取り込み分かりやすく説明しているグループ、プレゼンを何度も練習したのがよくわかるグループなど、それぞれが真剣に取り組んでいることが伝わりました。下級生に優しく話しかけている様子を度々目にして、微笑ましく感じました。

各アンケートには課題やご指摘もいただきました。結果並びにご感想については全教職員で回覧し、今後の教育活動や学習指導などに生かしてまいります。